

平成25年度 沖縄県経営体育成支援事業の点検評価結果(沖縄県)
(国事業名:経営体育成支援事業)
(3年計画の8年度目(令和2年度実績))

○概要

本事業は、適切な「人・農地プラン」が作成された地域において、中心経営体が経営規模の拡大や経営の複合化等に取り組む際に必要となる農業用機械・施設の導入等について支援するものである。なお、成果目標を定め、毎年度、その目標達成状況について点検を行い、その結果を公表することとしている。

承認年度	市町村名	地区名	都道府県の点検（評価）における所見(評価)及び指導内容
平成25年度	石垣市	大浜地区	・耕作放棄地の解消は、目標未達成である。賃借または購入可能な農地を農業委員会や中間管理機構を通して探しているが、耕作放棄地が見つからない状況である。希望する農地は、現在営農を行っている場所からなるべく近く、耕作をはじめる初期費用がかからない場所を探しているが、見つからない状況である。今後も引き続き農業会議等地域の関係機関に協力を得ながら耕作放棄地を探していくよう指導した。

平成27年度 沖縄県経営体育成支援事業の点検評価結果(沖縄県)
(国事業名:経営体育成支援事業)
(3年計画の6年度目(令和2年度実績))

○概要

本事業は、適切な「人・農地プラン」が作成された地域において、中心経営体が経営規模の拡大や経営の複合化等に取り組む際に必要となる農業用機械・施設の導入等について支援するものである。なお、成果目標を定め、毎年度、その目標達成状況について点検を行い、その結果を公表することとしている。

承認年度	市町村名	地区名	都道府県の点検（評価）における所見(評価)及び指導内容
平成27年度	うるま市	石川地区	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用については、常時雇用者を確保できず目標を達成できていないが、臨時的雇用は5名採用している。 ・臨時雇用は、延べ240人・日を常時雇用1名として算定すると、石川地区は令和2年度は4月から3月において、237人・日となったが、次年度は延べ240人・日以上を臨時雇用して目標を達成できる見込みである。臨時雇用での達成を目指しながら、常時雇用についても探すよう指導した。
平成27年度	大宜味村	大宜味地区	<ul style="list-style-type: none"> ・単収の成果目標について、オクラレルカは通常生け花など花材で需要があるが、コロナにより需要が減り、JAでも令和2年3月16日から出荷制限が行われた。そのため、オクラレルカにかける作業時間が減り、収穫量、出荷量が減ったことで、単収の目標達成はできなかった。 課題として水田の筆毎に植付時期が異なっており、収穫時期もずれるため、年度により収穫量にばらつきがでてしまいやすいことが考えられる。 ・次年度は、拡大した経営面積（水田）の植付状況などを筆毎に把握し、計画的に収穫できるよう管理を行っていく。オクラレルカはこれまでLサイズの出荷だったが、Mサイズが出せるよう取り組んで出荷量を増やしていく予定であり、単収目標を達成するよう村担当、JAが現地指導を行うなどサポートしていく。

平成28年度 沖縄県経営体育成支援事業の点検評価結果(沖縄県)
(国事業名:経営体育成支援事業)
(3年計画の5年度目(令和2年度実績))

○概要

本事業は、適切な「人・農地プラン」が作成された地域において、中心経営体が経営規模の拡大や経営の複合化等に取り組む際に必要となる農業用機械・施設の導入等について支援するものである。

なお、成果目標を定め、毎年度、その目標達成状況について点検を行い、その結果を公表することとしている。

承認年度	市町村名	地区名	都道府県の点検（評価）における所見(評価)及び指導内容
平成28年度	八重瀬町	八重瀬地区	<ul style="list-style-type: none">・トマトの苗代を節約するため挿し木苗を準備していたが、分け芽が出るのが遅れたことにより、苗の植付が約1か月遅れて12月となった。トマトの作付時期が遅れたことにより生育期間を十分確保できず、また12月は曇天が続き日照不足で生育もよくなかった、さらに収穫前の2月にも大雨が続き生育も改善できなかつたことから目標の単収を達成することができなかつた。・令和2年度はトマト苗は、全て挿し木苗を使用した。令和3年度は購入苗を使用して作付けも早めに行えるよう、助成対象者のハウスへ定期的に巡回して、台風対策の指導や、計画的な作付け、ハウスの管理等対策を支援すること。また、普及センター、JA等関係機関との連携により支援体制の構築を図るよう指導した。

平成30年度 沖縄県経営体育成支援事業の点検評価結果(沖縄県)

(国事業名:経営体育成支援事業)

(3年計画の3年度目(令和2年度実績))

○概要

本事業は、気象災害による農業被害を受けた農産物の生産に必要な施設の補強について支援するものである。

なお、成果目標を定め、毎年度、その目標達成状況について点検を行い、その結果を公表することとしている。

承認年度	市町村名	地区名	都道府県の点検(評価)における所見(評価)及び指導内容
平成30年度	八重瀬町	八重瀬地区	<ul style="list-style-type: none">・令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により緊急事態宣言が発出されたあと学校給食及び飲食店の運営がとまりインゲンやきゅうり等出荷できない状況が続いた。緊急事態宣言中はパート職員を作業させることができなかった。年末のコロナが落ち着いたときにピーマンを出荷できた時期もあったが、付加価値額の拡大の目標は未達成となっている。・令和2年度は、次世代給付金やコロナ給付金を受け、苦しい中生計を維持しているが、次年度は次世代給付金がなくなる見込みであり、コロナの給付金も受けられるかは未定であることから経営状況を維持できるか懸念される。優良種苗の植付により、品質の高い生産物を得ても、出荷先が確保できるかが懸念される。県としては今後とも栽培技術やコロナ渦での農業経営に対するアドバイスやフォローアップなど、普及センター等専門機関との連携に取り組んでいく。

令和元年度 沖縄県経営体育成支援事業の点検評価結果(沖縄県)
(国事業名:強い農業・担い手づくり総合支援交付金)
(3年計画の2年度目(令和2年度実績))

○概要

本事業は、気象災害による農業被害を受けた農産物の生産に必要な施設の補強について支援するものである。

なお、成果目標を定め、毎年度、その目標達成状況について点検を行い、その結果を公表することとしている。

承認年度	市町村名	地区名	都道府県の点検（評価）における所見(評価)及び指導内容
令和元年度	宮古島市	宮古島地区	<ul style="list-style-type: none">・付加価値額の拡大は2年度目の目標額を達成した。選択目標の単位面積当たり収量の増加も目標を概ね達成している。・今後も病害虫の防除対策を徹底することにより、単収の目標は達成できる見込みのため、今後も関係機関による病害虫防除に関する技術指導が受けられるよう市や県でサポートを行っていく。